

第3回総務部会 議事録

(1) 日 時：令和7年5月13日（火）午後7時より、（教育会館 第5研修室）

(2) 参加者：委員（7名）欠席2名、事務局5名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 協議事項

- ・校章の選定方法について
- ・校歌の選定方法について

③ その他

《部会長あいさつ》（省略）

《協議事項》

事務局 ・ 本日は校章と校歌の選定について協議をいただきたい。先般の準備委員会の中で説明させていただいたとおり、校章については昨年度からの継続協議となっている。また校歌については、今年度より具体的な協議に入ることになっている。前半を校章、後半を校歌の選定について協議いただくが、常に新中学校が目指す生徒像、学校像の実現を目指して協議いただくようお願いしたい。

部会長 ・ 事務局からも説明があったがいつも言っているように手段が目的化しないということでその先にある、ある意味でいうところのレジュメにある生徒像、学校像かと思うが、念頭に起きながら進めたいと思う。では、事務局より引き続き説明をお願いします。

事務局 ・ 資料1をご覧ください。今ほど事務局の方から説明させていただいた通り、継続協議となっているので、これまでの流れについて若干説明をさせていただいた後、事務局としての提案をさせていただくということで、よろしくをお願いしたい。まず、令和6年度の選定作業の経緯という部分だが、最初の第1回総務部会の席において作成の手順を以下の通りとさせていただいた。デザイン性を持たせることから、専門業者に依頼し、市内小中学生の意見も取り入れながら複数の候補を作成。児童と中学生が投票を行い、投票結果をもとに納品デザインを選定。再編準備委員会の協議を経て、市教育委員会で決定をする。専門業者に関しては、デザインに関して実績のある方、勝山ゆかりのある方に依頼をする。また他校の校章デザインと類似品ではないことの確認もしていただく。こういったことを決めた。しばらく時間をおいて、10月には事務局の方で専門業者を選定したが、それでよかろうと決定をいただいた。校名の選定の時には800以上の方々から様々なご意見をいただいていたが、その中に、校名に込められたいろいろな思いがあったので、そのデータをこのデザイナーの方に渡して、そういったものを頭に置きながらまた目指す生徒像、目指す学校像を象徴するようなデザインを提案してほしいと依頼をした。11月上旬にはデザイン素案をいただいて、よりイメージが持ちやすいようなプレゼンをお願いし、この総務部会と学校運営部会の合同部会において、実際にはオンラインではあったが、デザイナーより四つの案を提案いただき、そのデザインに込められた意味を説明していただいた。それで進めていいと了解をいただいて、12月5日の中学校説明会において、デザイナー本人より四つの案を提案いただいた。この後4年生以上の児童と中学生による投票を行い、どういう状況で行われているのかを12月の再編準備委員会で説明をした。アンケートを終えて結果を見たところ、先般の準備委員会の中でも説明させていただいたが、半数近くの中学生の方から、このデザインではないデザインを求めるといいう声が多くあった。デザイナーとの約束もあるので、納品いただくデザインについては、票の最も多かった三番という、「勝」という文字をデザインしたものを納品いただくとともに校

	章の選定については次年度へ継続協議とするということを決定いただいた。 - 次に昨年度の最後の第3回部会で次年度の継続協議をするにあたって、こんな意見もあるということで、いろいろ皆さんからご提案いただいた内容について、説明をさせていただく。資料2をご覧ください。大変文字が小さくて恐縮だが、この部会では投票結果をもとにこの四つの案からは校章を採用しないということと、継続審議にしていくということと、デザイナーとの関係で納品をいただく作品をどれにするのかということを行ったり来たりしながら、いろいろな意見が交じりながら協議が行われている状況である。 - それを受けて今日提案させていただきたいのは、資料1の方に戻っていただきたい。選考の手順として、今日ここでご了解がいただければ、小学校5年生以上と中学生、並びに市民の皆さんが求める校章のアンケートをしたい。先ほど言ったように、ある程度こんな感じのものを皆さんが求めているというものを明らかにしてからその後でその意見に完全に縛られる必要はないと思うが、こういう意見が多かったという情報を提示しながら、デザインの仕様と公募要項を6月頃に決める。その後、こういった声が多いということを示した上で、作品を公募してはどうか。9月ぐらいに、公募で集まったデザイン案の1次選考をする。この選考に当たっては再編準備委員会の委員の皆さんや美術の教員とかいう方々に選考委員会の委員になっていただいて、候補を絞っていく。いくつかの候補になった後に10月あたりに児童生徒に対してどれがいいかというアンケートをして、そのアンケート結果を元に、11月頃に第2次選考を行って、最終決定をしてはどうか。その意見をもとに、教育委員会で決定し、11月末に昨年行なった入学説明会を考えているので、ここで発表するという手順を踏んではどうか。以上が事務局案になる。 - 続けてアンケートについて資料2をご覧ください。対象は小学校の5年以上の児童、中学生、高校生、一般の市民の方々。学校の方は子ども達がグーグルフォームでボタンを押せば答えられるような形にしたい。市民の方々については勝山市のラインに登録されている方はそこから入るような形になる。あるいはホームページにそういったフォーマットを置いて、入力していただく。市の広報等で、ご協力くださいと呼びかけをして周知を図る。内容についてはこの資料2の通りで、どなたが投票されているかについては、一定の情報を提供いただく。校章に取り入れたいモチーフとしてはどんなものをお考えかとして、自然とか、動物とか、地域のシンボルとか、あるいは学問とか知識を表すものなど具体的にはどんなものかを聞き取らせていただきたい。それから校章に、色使いはどうかということで色をいくつかあげさせていただいた。また校章の印象として大事にしたいことは何ですかということで、格好がいいものとか、親しみやすいものとか、伝統や歴史を感じるものとか、モダンで新しい感じとか、勝山らしさが表現されたものとか、この辺りのところを聞いてはどうか。それから文字を入れるということに関して、入れたほうがいいのか、入れない方がいいか、別にどちらでもいいかという意見。入れる場合については「中」の文字とか「勝山」とか「勝山中」とか「K」とかローマ字で「katsuyama」とか頭文字の「K J H」とか、その他どんなものでもいいかを聞く。それからどんな形をイメージされていますか？ということで、まる型、四角型、花の形、自然の形、抽象的な形、特にイメージはないとして聞きたい。この程度の情報があれば、作品を公募する時の参考にしていただけるのではないかと。事務局からの説明は以上になる。
部会長	今の説明について何か質問があったらお願いしたい。特に今回初めての方もいらっしゃるし、昨年の経過をご存じの方でそうではないという部分もあるかもしれないので、もう少し聞きたいとか、確認したいということは遠慮なくどうぞ。
委員1	資料2の1から6まであって、一つずつ選択肢がいくつもある。この選択肢を統合して数が多いものを一つずつ選んで、それに当てはまる形でのデザインを公募しようという考えなのか。

事務局	先ほど最初に申し上げた公募要項みたいなものの検討については次回の会議でお願いしたいと思う。今考えているのは、こういう市民の方々の傾向があるという程度で見ていただいて、山の形を模したものを皆さんが求めているんだとか、文字を入れるとすれば、こういう文字を入れてほしいと思っておられるんだとかというものを参考にご提案くださいという形にしてはどうかと思っている。次の公募要綱を決めるときにこのようにしてくださいと指定して募集することもできると思うし、それを参考にしてくださいという程度のものにすることもできると思う。そのところはまだ決めてはいない。
委員 2	他の中学校のイメージだと、やはり校章とか学校の型とかになると、「中」を中心にデザインがあってどこどこ中学校というのがどこの学校でもある。大会に来た時の校章とか旗にしてもそういうのが一般的で、なおかつ目立たず、わびしい感じもなく、一般的だと思う。今は未来のために勝山中学校を建てますという思いがあるのは十分わかるが、今の出生数を考えると 20 年後にどうなるか、30 年あるかないかという先のことも考えた中で、これから 100 年頑張るというならお金をかけて頑張ってもいいと思う。20 年あるかないかを考えると、今ここまでこれだけの選択肢を出して校章はどうですか？というよりは、せっかく名前も勝山中学校と決まったので、イメージとしては、昔自分の親の世代があった勝山中学校の校章を使って、話はずれてきたが、校歌もそのまま勝山中学校の校歌を使った方が、勝山中学校の奮起復活みたいな感じで一番スマートではないか。いろんな方に公募してそこからまた選定して、これに決まりました。どうですか。やはり気に入らない人もいてこれは気に入らない、この中にないと言う。結局同じことの繰り返しですがまた年度末に来るかもしれないということであれば、今この委員会にいる方で勝山中学校があった時の世代のことを知っている方もいらっしゃると思うので、そういうところも考えて、自分の意見が全てではないが、そっちも並行して、以前の勝山中学校を復活させるというか、中学校を建てた時の思いもあったはずなのでそこを活かしつつ、新中学校にあてこむというやり方も検討の一つでお願いできればと思う。一人だけ先走って申し訳ないが、校歌に関しても結局校章みたいに勝山の自然がどうだとか地域性がどうかというのは、結局どこの小学校も中学校も見渡す山はどういう感じだ。そういうことになる。それを今ふうのデザイナーの方にお問い合わせすると、横文字が入っているだけだとか、そういう形だと、例えば勝山中学校の生徒が全国大会に行った時に優勝して校歌を歌って、え、横文字の校歌？。昔の人間なので、校歌で横文字というのは、優勝したのに変な校歌だと思われるのもどうかと思う。校歌というと、学校名が変わるだけで、ニュアンス的なところ、見渡す景色とか川のせせらぎがうんぬんというのはそこそこ似てると思う。勝山中学校の時の校歌も昭和に入った時の中学校のその時の作家さんとか作詞家さんが真剣に考えてそういう歌を作られたと思うので、以前の勝山中学校の校歌も 1 回聞いていただいて、それが今の時代の雰囲気合わないのであれば考え直してもいいかと思う。式典だとかいろいろなところで校歌を歌ったときに違和感がないよね、勝山らしさがあるよねということであれば、そちらの方も合わせて検討していただけたらと思う。
部会長	ご意見ということでよろしいか。一点だけ思うことがあって、20 年か 30 年ということだが、その子が中学生の生活を送る 3 年間は、その時しかなくて、その瞬間瞬間というのは大事にしてあげた方がいいのではないかな。大人の的には、こちらの的にはいずれまたという気持ちはあるかもしれないが、やはり新中学校ということで、ワクワクする。どこからどうせ 20 年でなくなるで、こうなったんだというのもどうかというところがある。
委員 3	それだけしか持たないから昔のものを引っ張ってきての方がいいのではない。昔は昔の歴史があって人口減少もあってのことなので。
部会長	ご説明でそれはよくわかったのだが、20 年か 30 年でという言葉だけが走っ

	てしまう可能性もあって、それが表に出なければいいが、そこは気をつけたほうがいいかな。もう一点、これはアンケートに入れることになるのかどうかだが、それも含めて皆さんのご意向を伺いたいという事務局の案にかなと思う。
事務局	・あらかじめお願いをしたいなと思うのは、方向性としてお認めいただけるということであれば、アンケートの大きな変更ということになる場合については再度また皆さんにお願いしなくてはいけないが、細かいことについては、今日いろいろ意見をいただいたら、そういったものを踏まえて、事務局の方で修正する。
部会長	・アンケートのことについては少しおいておく。流れとしてはどうか。資料1の2番になる。デザイン仕様を基にした選定手順がこれでいいかが一点ともう一点はその場合の5月中と書いてあるアンケート調査が資料3でいいのかという2点だと思う。まずこの選定手順について事務局もいろいろ考えられての案かと思うが、これについて何かご意見はあるか。そもそもアンケートをしなくてもいいのではないかというところから始まったが、それも含めてどうか。
委員4	・公募するときの仕様になる。結局仕様のある程度のアウトラインっていうのが大体固まっていないと、このアンケートだけから仕様書を起こそうとすると、どういったものを作ればいいのかイメージができない。逆に調査結果をもとに公募要項を決定するのではなくて、ある程度公募要項の枠組みをある程度決めておいて、それに沿うようなアンケート内容を出した方がいいのではないか。アンケートの案が抽象的なものになるので、ある程度絞り込みができるようなものがあるといい。順序としてその方がいいのではないか。いろいろな物作りをする時も、仕様書というのは最初に決まっていって、その仕様書に合わせて、中をどうするかを考えて通常作り上げていく。逆にこの手順でいった時に、どういった仕様書を作ればいいのか、わかりにくいことにならないかが心配なところである。
部会長	・アンケートから受けた印象でいうと仕様書を作るために、まず皆さんの気持ちを聞きたいということかと思った。全然打ち合わせをしていないが、去年選定して駄目になったという経緯もあって、また一年後にやっぱりそれでも気に入らないという意見がどんどん出てくると大変なので、みんなの意見を聞いて、こういう方向で決めていって手順を踏んでいきたいという事務局の思いなのかと思う。
事務局	・そういう思いである。
委員5	・その時にこのアンケートの内容がこれでいいのかということになる。
部会長	・流れとしてはそういう思いで、同じことをまた今年度末は繰り返したくはないという決意。そのあたりで、皆さんの意見を聞いたということもしながら、最初から仕様を決めてしまうと、なぜかという意見を防ぐためのことだと思う。そういうことでよろしいか。
事務局	・そういうことである。
部会長	・意見を聞いた上で仕様を決めたいということになる。
委員6	・今回初めて参加させていただいたが、皆さん苦労していろいろな対応をしてくださっていたということを改めて思った。その中で、今もう1回アンケートを取って果たしてまとまるかというのが個人的な意見になる。先ほど言われたように、中学校であれば、「中」という文字を入れた方がいいのではないか。中学校とか小学校、高校のデザインだが、大体「中」がどこの学校にも入っている。パッと見た時にやはり高校なら高校、中学校なら中学校とデザイン的に「中」が入った方がいい。個人的な意見で言わせていただくと、勝山は小笠原家があるので、例えば西校さんとかは三階菱、勝高も入っている。校章なので少し高貴な感じでないと駄目だと思っているし、大体私が思うのはそういう形になる。
部会長	・これも、ご意見ということで伺っておく。

事務局	我々もいろいろ悩んでいるところもあって、このアンケートを作ったのも例えば、2番でモチーフは何がいいかと最大3つまでだが聞く。アンケートを取った結果、自然というところが一番多かったとしても、動物とか地域のシンボルとかは出さずに自然で作ってくださいという仕様にはならないと思っている。情報としてはこういう順番でこういう意見があったというような提示の仕方かなと思っている。その提示の仕方がそれでいいのかということはあるが、どれか一つずつに絞り込んでそれで仕様を作って募集するというイメージよりも、中学校の校章を作るにあたって、事前にとったアンケートでは結果はこうだと全部出すような形で、それを見ながら皆さんのそれぞれの思いでデザインをしてくださいということではないかというのが一つ。それから「中」の字が一番シンプルで最も多いというのも確かだと思う。例えば5番のところに文字を入れたいと思いますか？と聞いて「中」というのが一番目にあって、こういうところの意見が多ければ、デザインされる方もそれを踏まえて作るということになるかなと思う。ただ、福井県は「中」が多いかもしれないが、ネットで全国を調べると、いろいろな校章があって、必ずしも文字が入っているものばかりではなく、入っていないものもたくさんある。事務局としては新しい中学校を作るという思いがあるので、過去のいいものを継続して使うということのも大事な発想だとは思いますが、新しいものをこの時に作るということも大事かと思う。それを今の子ども達はどういうふうを受け止めて、どういうふうアンケートの中で表現してくれるのかという、その子どもの気持ちも大事にしたいという思いでこのアンケートを作り上げた。先ほどのご意見も入れるのであれば、ここに勝山市のいろいろな過去の校章も入れた上で、これも選択肢として考えるというようなこともあるかと思うし、あまりきめきめで最初からというのはどうかと思っている。
部会長	補足すると、この校章に至るまでのいろいろな項目については子ども達に聞いてきた。子どもが主語で主人公は子どもだということで、子どもの意見をいろいろ聞いてきた中で、この校章についてはデザイナーに依頼した。そのこともあって子ども達はなぜこれを私達には聞いてくれないのかということもあって、1から4までにはいいものがない、特に中学生にはそういう意見が出てきたのかなと思っている。その時に言えばよかったのだが、最初から子どもの意見を聞かないのはなぜかと。今改めて、仕様書作成に向けた子ども達の意見を聞き、さらにデザインが出た後でまた子ども達に聞くという措置をしたいという思いなのかと考える。
委員 7	勝山中学校があった時にはもう中部北部もあった。その後南部中学校ができて、勝中が中部と南部に分かれて3中が出来上がった。勝中といっても勝山の中心ではない。当時から一番気にしているのは南校は成器南小学校、西校は成器西小学校でこの三階菱がある。勝中も多分これだったはずだ。ところが北中は違う。勝山市内全部で成器を使っているのかというと、拒む人が結構多い。もともと勝中は今の西校の位置にあったので小笠原になっているが、全体を取り込んでやろうと三階菱を使うと多分反発をする人が必ずおられる。そのことも一応考慮しておく必要があるかと思う。
部会長 事務局	- その話は去年もあった。 - 先ほどの説明の中にも入れたが、校名募集のときに成器中学校がいいという意見もあった。あったが、大勢の中では、「勝山」が圧倒的に多かった。その話の中で、特に「成器」は「琢玉成器」という言葉から来ているが、小笠原藩がらみのいわゆる成器校の教えが生きているので特に一校にするということに対して、必ずしも賛同的に思っていない方もいらっしゃるの、そういった意味ではどなたにも理解いただけるものにするのも、この議論の中でも出ていたのでお知らせしておく。
委員 8	校章というので、バッチっぽい校章を選ぶのか、勝山市にもあるがエンブレム的なものを募集するのか、どちらかにすれば、簡単に言ったら中学校を入

	れるか、勝中にするのか、文字を入れるかどうかで、そのエンブレムの中に どのような想像したイメージのものを描くのかだと思う。まずエンブレム、勝 山中学校としてのどのようなイメージのエンブレムになるのか。エンブレム作 りが決まれば、あとの校章はスムーズに行くのではないかと思う。いろいろ モチーフどうですか、色どうですかと聞いて、デザイナーさんにこういう意 見を精査してくれませんか、わかりました。でも、またこんなものになるの ではあれどうなっているのだろうと思う。まずバッチふうのデザインにした いのか、エンブレムでやっていきたいのか、その2択でどちらの方向で考え ていくのかという選択肢も大事なのかなと思う。
事務局	・エンブレムという言葉が出たので、去年の経緯としてお伝えする。新しい制 服の胸元にエンブレムを作ることについては子ども達から公募をした。そし て恐竜のマークが入った中部中学校の女の子が考えたものが最終的に選ば れて、胸元のエンブレムが出来上がった。去年は、この校章のことだけでな くて、エンブレムとか、体操服の後ろのロゴマークとか、ボタンに入ってい るマークとか、そういったものも全部ここで協議をいただいた。そこに子ど も達の投票とか意見も聞いたということで、かなり現場の子ども達に何回も 聞いたというのが去年の実情になる。学校からは学校が負担なのであまり聞 かないでほしいという意見もいただくぐらい、たくさん子ども達の意見を聞 かせていただいた。エンブレムという意味合いでは一つ作業が終わっている ので・・・。
委員 9	・エンブレムという言い方が悪かった。勝山市だったらマーク。マークが決ま ればどうなのか。そういうイメージのマークというのは、どういうマークな のか。結局今の北部中、南部中、中部中にしても、その学校イメージはマー クがあって「中」という校章ではないか。イメージ的には校章はそんなにご ちやごちやしているものではないと思う。
事務局	・趣旨は理解した。今、言われているイメージもあるし、言ったらいろいろな ものがあるわけで、今子ども達がイメージする、あるいは勝山の大人の方が イメージする校章というと、大体こんな感じというものでいいのかどうかと いうあたりを聞きたいのがその思いになる。いやいや、もう勝山は伝統的に ガチッとした「中」の字に、丸がついて、それがいいんだという声が多くな るのであれば、その方向でいいかなと思う。新しい学校だからもう少しなん か格好がいいものにしてよとか他のを見たらこんなものもいいなとか子ど も達や市民の方々がいろんな思いを持っておられると思うので、その辺りを 集めたいというのがこのアンケートの趣旨である。
部会長	・先ほどの説明にもあったが校章にはいろいろなものがあるので、中にはごち やごちやしたものもあるし、「中」という漢字だけというものもあったし、 本当に多様である。改めてその子ども達を中心に意見を聞いていくというこ とかなと思う。そういうご意見もあるということを十分事務局は認識した上 で進めていただけたらと思う。大体、この仕様というか、募集要項を決定す るためのアンケートを行って、それに基づいて、募集要項を決定して、作品 を公募して、デザインをふるいにかけて最終的に決めていって教育委員会で 決定という流れを事務局は考えているが、この流れについてはいかがか。ア ンケートの中身ではなくて流れについてはそれでよろしいか。 ・一点だけよろしいか。児童を小学校5年生以上にした理由は何か、去年は4 年生以上だったから進学して5年生になったからか。
事務局 部会長	・4年生でもいいかと。意図としては一つ進級したということで考えた。 ・資料2だが、聞き方とか順番は、2番の項目にしても、最初に聞くのか、5 番を最初に持ってくるとか、順番は大きく影響をしてくると思う。質問の順 番がこれでいいかどうかも含めて考えるとどうか。いきなりモチーフと聞く より、まず文字「中」を入れてほしいかどうかから聞いて、その後周りの印 象としての流れになっていくのかなと思う。小学校4年生を入れるかどうか は別として、4番のモダンとかは意味がわかるのかなと思う。10代20代で

	もわからないかもしれない。ある程度の年齢の人はモダンねと思うかもしれない。あと抽象的な自由な形も小学校5年生でもわかるような言葉に直すようにA Iに聞いた方がいいかもしれない。そして一番の属性だが、一般に10代も入れた方がいいのではないか。お住まいの地域は市外と市内はひっくり返した方がいい。去年も出たが、複数回答募する人がいるのではないか。その対応だけお願いしたい。
事務局	一覧になるので、確認できる。実は校名の時も悪意ではなくて、子ども達が間違えてとか家でやったら学校でやって何回か同じ名前の子が出ることもあった。その辺りはデータで確認できる。
部会長	出たところで確認はできないから、例えば、〇〇太郎、〇〇次郎とかどんどん名前を付けてする可能性もあるのはある。そのあたりをどうするのか。ほかにアンケートについてどうか。もう一回作り変えた方が皆さんもご意見があると思う。そもそも最初にした方がいいのではないか。校章はこういうものでいろいろある。「中」の字もあるし、いろいろあるが、改めて新中学校に向けてという説明があるといいのではないか。他にはいかがか。
委員 10	一般公募でするのであれば、順番といった時にイメージを考えるとと思うが、シンプルな中学校の校章の例みたいなものと先ほど言われた今の時代のごちゃごちゃとした校章、どこか学校名まで出さなくてもいいが、こういうデザインの校章もあるという例を出しておいてから、問いかけにしてもいいのではないかと思う。
事務局	ネット上の操作になるので、その辺り、いただいたご意見はできるだけ反映できるように考えたいと思う。
部会長	去年も説明させていただいたが、例でいうと、新しい高校はこんな高校にしたいと思っています。つきましては校章をよろしくとしか言っていない。全国からいろいろな種類のものがあがってきて、審査員の方でフィルターをかけて、最終審査をして、今の校章になっている。ここを入れるとか、入れないとか一切言っていない。
委員 11	イメージはあんまり出さない方がいいと思っている。出してしまうと固守してしまうからそれは出さないほうが良く、逆に子ども達はタブレットを持っていてネットでいくらでも調べられる。いろいろな選択の中から調べるというのも一つの勉強の面白さの方法になる。小学生だったら一人というより、例えばクラスでみんなで話し合っ、班ごとに何かを出すとかいう方がいいのではないか。一人で考えるのは結構難しいのではないかという気がする。先ほど先生が言われたようにモチーフとかよく分からないということになると思う。これを最初に見た時に2番と6番がかぶってしまった。モチーフと形。モチーフをベースにする形になるのか、形を先にしてその中身にモチーフを入れ込むのか、多分小学生はそのニュアンスも取りにくいところがあるという気がする。一人で考えさせずに何人かのグループで出してもらった方がより精度のいいものが出てくるのではないかという気はした。
事務局	アンケートのご指摘についてはもう一度精査する。今ほどいただいたグループですというのは、次回要項を作って審議していただくことになろうかと思うが、その中に、個人でもいいし、グループでもいいということを付け加えておくといいのかなと考えながら聞かせていただいた。
部会長	そんな時間は学校にないと学校から来るかもしれないが、教育的な効果はあると思う。当事者意識を持つというか。自分たちがいずれ身につける、目にする校章を考えることは小学生にしてみるといいと思う。その辺も含めて考えていただけるといい。事務局の思いも組みながら、11月にはもうこれで行きたいという決意が表れているので、皆さんの意見を聞きながら要項を作っ募集をかけて、そこでいろいろ子ども達にも考えてもらうということによっていいか。いろいろ意見をありがとうございました。いろいろな意見が出ないと考えられないので多様な意見を引き続きよろしくをお願いしたい。それでは校章の方はそういうことで進めていただいて、2番目の校歌の方へいきた

事務局	い。先ほど一部ご意見も出たが、改めて最初から説明をお願いする。 - 校歌について説明をさせていただく。資料3をご覧ください。冒頭事務局から申し上げた通り、校歌の選定に関しては、本格的に協議を始めるのは今年度がスタートとなる。予算要求等のこともあって、方向性だけは昨年度の第1回の総務部会の中で協議をいただいている。その経緯を少し説明させていただき、事務局案を説明させていただきたいと思う。まず7月の総務部会の中で次のように決めさせていただいた。校歌の作成は専門性が高いという観点から、専門家に依頼する。作成にあたっては校名募集時に市民から寄せられた勝山市のキーワードを提供する。作成した校歌については総務部会、再編準備委員会の承認を経て、市教育委員会で決定する。作詞作曲を依頼する専門家の選定方法については、個別の依頼が難しい場合は専門業者に委託する。つまり皆さんの人間関係の中であの人に頼めるという人がもしいらっしゃるとすれば、そういった方々に直接頼んでいくことを第一義的に考える。ただそれでももういせんよという場合については、県内の今いくつか学校が開校して校歌を作っているが、かなり多くの学校がいわゆる企画会社に頼んで、そこから作曲家や作詞家をプロポーザルという形で提案いただいて、この方です、この方です、こういうことに対してお金を支払うという形を取っておられる。発言をいただいたが、既存の曲を使えないかという意見をいただいている。そこに三つ書かせていただいたが、「勝山ふるさとの歌」これは勝山南高校の校歌だった。津村節子さん、芥川賞作家で勝山にゆかりの方で90いくつになられた方と三木たかしさんが作っておられる。こういうことで非常に著名な方が作っておられる曲になる。あるいは旧勝山中学校の校歌を復活させてはどうかというような意見、それから勝山高校と隣接するになるので、勝山高校の校歌を共有してはどうか。経緯としてはこのようになる。 - 手順になるが、この校歌についても、まずは市民の皆さんがどういう校歌を求めているのかということと事前調査してはどうか。気持ちとしては校歌と校章と一緒に調査できるかと思っている。どんな曲がいいかと思うかを聞くことと合わせて既存の曲を使うことについてもご意見をいただく。市民の方々の中には、この方に頼めるという情報をお持ちの方もいらっしゃるかもしれないので、そういった情報を集める意味でも事前調査をしてはどうかという提案である。これも5月あたりに調査をして、6月あたりにこの調査結果をもとにどういう方法で決めていくかということを確認してはどうか。もし新規に作成するということになれば、その依頼方法を決めていく必要がある。例えば作詞家または作曲家をどなたか個別の方にお問い合わせするという場合については、どなたにするのかを協議していく必要があるし、専門業者に依頼する場合については、それに応じた仕様のプロポーザルをすることになるので、こういった形の仕様書で依頼をしていくかということも協議いただくことになる。もし業者委託になった場合、他市町の状況を聞くと、10ヶ月から1年ぐらいの期間が必要になるので、今年度内の完成は少し難しいができれば令和9年4月の開校なので、令和8年中には完成をして子ども達が歌える状況にして、開校時には皆で斉唱をするという形に持っていきたいと考えている。それから後ほど一括して提案させていただくので、その3曲がどんな曲かを聞いていただきたい。勝山中学校は残念ながら音源がないので、歌詞カードだけ持ってきたのでもし歌える方がいらしたら、歌ってほしい。
部会長 事務局	- 音源はなくても楽譜はどうか。 今、南部中学校に勝山中学校の財産が残っているので、調べてみると、もしかしたら出てくるかもしれない。
委員 12 事務局	- 調べてみたがなかった。 - まず「勝山ふるさとの歌」になる。
事務局	(勝山ふるさとの歌の合唱) 大体こんな感じの曲になる。それから勝山高校の校歌になる。ご存知の方が

	多くいらっしゃるかもしれない。 (勝山高校校歌)
事務局	・こんな曲になる。旧勝山中学校校歌になる。 (音源がないのでアカペラで歌う)
委員 13	・聞かせてもらった校歌はどこから引っ張ったのか。録音してあったものをもってきたのか。
事務局	・勝高の校歌は、勝高の吹奏楽部の先生からいただいた。
委員 14	・子どもと夏休みの宿題で、旧春江工業高校の教育博物館に行ったが、あそこ にいろいろな学校の校歌が入っていて、そこに勝山中学校の校歌はないの か。
部会長 事務局	・音源が集まるものはあるかもしれない。 ・教育博物館は学校で録音して、博物館ができた時に集められたので、昔のものはデータとして残っていない限りはないのではないかと。提案を続けさせていただく。そういったものを踏まえて最初のアンケート案ということで、資料5を作ってみた。同様にご自身のことについて、校歌に込めたい思いとか、雰囲気とか、入れたい言葉とか、イメージとかを聞く。後に作るとすればどう いう人に作ってほしいかと聞く。その後は情報の収集になる。もしいると 答えた方がおられれば連絡先を教えてくださいませんか、そして直接お聞きする という形の作業に入る必要があるかと思う。7番については今ほどお聞きい ただいた既存の曲を使うことについての是非を問う、こういうものになっている。 説明は以上になる。
部会長	・これも同じく経緯、そして選定手順の案と、アンケートというこの3点を示 されたが、経緯についてはよろしいか。2番の選定手順の流れについてはい かがか。その後でアンケートはどうかということになる。
部会長	・これも子ども達に聞いて市民の皆様にも聞いてというほかの項目と同じよう に、自分たちの勝山の学校だという気持ちを持ってからという面もあってア ンケートを取るということ。流れとしてはよろしいか。一点だけ確認だが、 開校した時、平成9年度の4月にはもうできているという前提か。
事務局 部会長	・そうである。 ・学校によってはできてから一年、二年後に校歌というケースもあるのはある が、勝山中学校に関しては開校時にみんなで歌えるということを目指した い。流れはそういうことでよろしいか。勝山新中学校の校歌を制定する会 のような団体から、寄付を受けるとか寄贈を受けるという考え方はないのか。 勝山中学校の校歌を決める会がクラウドファンディングか何かでお金集め てというのは時間的に難しいか。
事務局	・予算だけの話をすると、昨年度の7月に協議をして今年度の当初予算でと思 ったが、どういうふうにしていくかもまだ煮詰まっていなかったもので、今年 度の予算は要求していない。ここである程度形が決まって、例えば業者委託 しようということになれば、補正予算でお願いをしていかななくてははいけない という認識で財政と今話をしている状況である。
部会長	・将来的な可能性として、方向性が決まってきた、作曲作詞によっては相当お 金が必要なので、予算がつかなかったから安いところしてみたいなふうにな ったりするとどうなるかといういろいろ想定した。
事務局	・最初から想定してはいないが、予算は限りがあるので、財政と話をする中で、 これだけだったらクラウドファンディングをやってほしいという話になれば 考えたいと思っている。
部会長	・青天井ということはないのでそういうやり方もある。お金がかかるので提案 をした。ではアンケートについてお願いしたい。項目によっては切り分けて、 大人だけに聞いてもいいのかなと思う。6-2とかは子どもに聞かれてもど うか。極力項目を減らしてアンケートその1、その2と切り分けた方がいい。
事務局	・対象を別にすることは十分可能だと思う。
部会長	・大人の方はこちらとか。7番目はボリュームを減らすためには1、2、3と

	しておいて検討しても良いものがあれば選んでください、かつこ1とか。ふさわしくない、かつこ2とか。これはグーグルフォームからだとずっと出てくると思うが、こんなに書くのかという感じになってしまうとどうか。大事なところを最初に聞いてこれは必ずみたいな、後は答えてもらってももらわなくてもいいとか、それもあるのかなと思う。まず全体の仕様を考える。あとはどうか。
委員 15 事務局	・曲が先行して作詞になるのか。作詞があつて曲が入るのか。 ・やり方にもよるが、例えば詞だけ作ってもらおうということになれば、ご指摘のように最初に詞を検討して、その後これに曲をどう乗せていただくかということになるし、業者委託みたいな形になるとそれぞれ詞はこの方、曲はこの方となって、業者の作業の中でまず詞を作ってください、これに曲を乗せてくださいというのは、業者の一連の作業の中でお願いできることになるかと思う。
委員 16 事務局	・校章の件に戻ると、結局出てきた以上、プロの人はやはりそれなりのプライドを持って出してくる。それに対して手に入れられると困るとなるとどうか。 ・これについては他のところの状況だけ言うと、業者が全て我々の知らないところで勝手に何か作ってきてというのはなくて、詞については今こういってことで考えています。これについて皆さんご意見をどうぞとか、あるいは入れてほしい言葉は何々ですということで詞を作っていただくとか、その辺のやり取りは順番にやっていくことがあるようだ。
委員 17 事務局	・ネットで各学校の校歌はどうやって作っているのかを調べたら、ネットで募集しているところが結構多い。蔵王中学校は市のホームページに募集要項を全部載せて、それで歌詞を一般公募している。こういう中学校が意外とある。大阪の東勝山小学校もある。選定するのは大変な作業だと思う。 ・公募というのは選べるのでとてもありがたい。我々がデザインのところで、子ども達からその他の意見が出たということを考えると、いろいろなアイデアを募集させていただいて、これがいいというのを選ぶのは、外れることがないというか、そういった意味ではいいかなと思う。
委員 18 部会長	・ちなみに蔵王中学校は入選作品に対して10万円の賞金が出る。 ・新しい高校の校章の一番だった人も10万円ぐらいだった。AIが作るかなと思う。
事務局	・昔ニュースでやっていた。入れたい言葉だけ募集してAIに作ってもらう。結構大変みたいなことだった。
部会長	・アンケートについていかがか。順番とか。
事務局	・小さい子どもに聞くというものについても、別途様式が必要だと思う。
部会長	・5番は大人でも難しい。親しみやすくは流れてくると親しみやすいのかもしれない。
委員 19	・4番の項目の地域の名前という選択肢があるところで、先ほど言われたように成器とかこだわる人がいるのなら、地域の名前は削除した方がいいのではないか。
委員 20 事務局	・歌詞に南高校の高校名が入ってきていない。 ・4番の最後に南高校が入ってくる。それを勝山市のふるさとの歌という形にするために、作詞家本人に依頼し、校名が入らない歌詞に変えて、その部分を少し変えて歌っている。
部会長	・いかがか。違う話をして申し訳ないが、福井県民歌があつて昔のものは本当に軍歌のようだったが、福井国体の前に編曲して変わった。そういう話も出てくるかもしれないということか。
事務局	・歴史を感じるようなアレンジであれば、若干現代ふうというアレンジだけを頼むことも可能である。
部会長	・選択肢にあつてもいいかと思う。
委員 21	・個人的な意見でアンケートについては、具体的な文言が入るのは避けた方が

	いいが、イメージ的なものは中学生だったら対応できるのではないかなと思う。そのイメージで作ってもらったということであれば、これはいや、あれはいや、という話が出てこないと思う。二つ目は勝山高校の校歌は大好きだが、中学生に歌わせるのは少し違うなと思う。旧勝山中学校の校歌の音源がなかなかなくて何も準備もなくて楽譜もなくて、一回探したことがあるがもしかしたら引越しに出てくるかもしれないがわからない。四つ目、歌っているとやはり思い出が出てくるので、案外決まってしまうと、その時には中学生はへーと言うかもしれないが続けているうちに馴染むのは校歌だと思う。親しみやすくか荘厳かはわからない。校歌というのはそういうものかという気はするので、だからアンケートをしてこれが校歌だと言えればいいと思う。
部会長 委員 22	・細かくしない方がいいということか。 ・小学生にはわからないことがある。いくつも聞かれても難しい。そして、今どきの流れの方になっていくのではないかなと思うと、あまりたくさんのことを小学生に聞いても難しいなと思う。
事務局 委員 23	・先ほどの5年生以上というのはどうか。 ・5年生でも流行の人物の名前を入れて出たらそちらの方にいってしまうのではないかなという思いはする。小学生に聞くことは少なくていい。昔の校歌をここから音源をお聞きくださいと聞いても、えー昔のは嫌だという感じがする。何となく言うてしまうのではないかな。昔の歴史のこととかはさておいて新しい今時のという感じに流れてしまうのではないかな。小学生は少しでいいと思う。
部会長	・今の雰囲気だとアンケートは切り分けた方がいいと思う。それでも4年生以上にしてほしい。他になれば意見は出たように思う。今のいろいろなご意見を含めてまた考えていただいてと思う。
事務局	・確認だけさせていただくが、校章校歌については、事務局提案通り、アンケートを一旦させていただいて、市民の皆さん方、子ども達の意見を反映した形で作業に入るといって進めさせていただく。なおアンケートについては、いろいろご指摘をいただいたので、それを参考にこちらの方で検討して進めさせていただくことで、ご理解いただいたということで、よろしくお願いしたい。ありがとうございました。
部会長 事務局	・事務局どうぞ。 ・本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。今日いただいたご意見をもとに修正を行い作業を進めたいと思う。今年度は本部会の開催数が増えると思うがよろしくお願いしたい。それでは以上で総務部会を終了する。ありがとうございました。 ・6月中にもう一度お集まりいただくことになろうかと思うので、またご案内させていただく。よろしくお願いしたい。

資料1. 校章の選定について

資料2. 勝山中学校校章アンケート（案）

資料3. 校歌の選定について

資料4. 勝山中学校校歌アンケート（案）